

会長あいさつ

《ニュースレター第1号の発刊によせて》

会長：加藤 奈智子

今年(平成16年)は地震に、台風にと大きな災害があり、被災された地域住民の皆様のご心労を思い、心からお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、恒例の同窓会が近くなってまいりました。平成15年度の総会で『100年記念事業』を契機にニュースレターを出すことを決議いたしましたので、その第1号を発刊することと致しました。長崎看護学同窓会の長い歴史の中で、会員同士の暖かく、深い交流の手段としてこのニュースレターが継続できるよう努力いたします。今後は、会員の皆様からホットなニュースや動きなど、多くの情報等の投稿がたくさん寄せられることをお待ちしております。

同窓会会員数(現在)

数	3073名
養成所	363名
厚生女学部	155名
看護学校	1355名
医療短大	1200名

募金のお礼

100年記念事業における募金へのご協力、本当にありがとうございました。お蔭をもちまして、「長崎看護学同窓会研究奨励賞」という同窓会の大きな財産を皆様のお力で誕生させていただきました。100年記念事業が単なるイベントに終わることなく、これからの看護者の育成として形作られていくことに大きな喜びを感じております。

しかし、研究奨励賞の運営資金は年々目減りしていきますので、今後も募金募集は継続して行っていきたいと思っております。会員の皆様、ご協力宜しくお願い申し上げます。

(文責：田添京子)



看護教育100年記念看護学研究奨励賞

長崎看護学同窓会の100年記念事業では「看護学研究奨励賞」を大きな柱として取り組んで参りました。窓生の皆様のご理解を頂き、目標額に達することが出来ました。この研究奨励賞は「看護学研究奨励賞に関する規程」を作成し運営しています。

1. 研究奨励金は湯集な研究者を育成するために、研究費の一部を助成し、看護学の向上および発展に寄与することを目的としています。
2. 助成金は1年に50万円を限度として、1~2件交付する予定です。
3. 助成の対象は看護学に関する個人または共同の研究です。
4. 研究奨励賞に応募できる人は長崎看護学同窓会会員、長崎大学医学部保健学科看護学専攻 教員、看護実践または看護学教育に携わる者であることです。
5. 応募された研究課題に対して、選考基準に基づき、選考委員会で厳選に審査をし助成を決定します。
6. 助成を受けた人は、その研究成果を2年以内に発表し、学会誌等に投稿していただきます。
7. 研究助成期間
平成17年10月1日~平成18年9月30日
8. 応募方法
1) 所定の申請書に必要事項を記載し、3部(正1部、副1部)を書留で同窓会事務局に送付する。
2) 応募受付期間：平成17年5月1日~6月30日
9. 助成金の使途

研究活動に必要な旅費、消耗品、通信・運搬費、資料・印刷費などを含む(ただし研究用 備品、人件費については認められない)。

この奨励賞による研究成果が、看護学の発展、臨床看護水準の向上に寄与できるように、さらに同窓会の活性化に多くの方の応募をお待ちしております。(文責：浦田秀子)

Dr. 236h1200

平成16年度 庶務報告

1. 平成16年度同窓会入会者 78名(医療短大第18回生卒業生全員)

1月 医療短大看護学科3年生に入会案内(浦田書記)

2. 経過報告

1) 同窓会総会 平成15年11月23日

平成15年度庶務報告、会計報告

平成16年度事業計画案、予算案

2) 理事会開催 4回

①第1回理事会 平成15年11月23日 総会の振り返り、本年度の事業案内の承認

②第2回理事会 平成16年3月4日 看護学研究奨励賞について

③第3回理事会 平成16年10月1日 総会の議事審議、ニュースレターの検討

④第4回理事会 平成16年11月23日 総会の最終打ち合わせ

3) 慶事

・3月 医療短大卒業式 お祝い:生花スタンド

・物故者への弔電

・中村フサ様の初盆に加藤会長がお参りし、ご仏前をお供えする。



長崎大学医療技術短期大学の閉学

長崎大学医療技術短期大学部は昭和59年4月に開学し、平成17年3月専攻科助産学特別専攻学生の卒業をもって閉学となります。看護教育は平成13年10月に開学した長崎大学医学部保健学科に継続されます。

長崎大学医療技術短期大学部における教育は、社会的に有意な医療技術者を育成し、もって広く国民の保健医療の向上に寄与することを目的としています。このような理念のもとに、看護学科は修業年限3年間、学生定員50名(平成3年度より80名に増員)で平成16年3月までに18回生1202名の卒業生を送り出しました。専攻科助産学特別専攻は昭和62年4月から学生を受け入れ、学生定員20名で平成17年3月に18回生20名が卒業予定で、合わせて360名を世に送り出すこととなります。

看護学科の学生は卒業後、医療機関や行政機関等への就職、養護教諭養成機関、保健婦学校、助産婦学校等への進学および4年生の医療技術関係大学等に編入学しています。(文責:浦田秀子)

病院紹介

平成15年10月1日医学部附属病院と歯学部附属病院が統合になり、ベッド数869床、32診療科、35中央部門となりました。看護部職員は558名で14病棟と40の外来に配置しています。建物はそのままですが、管理運営組織は統合により、簡素化されつつあるところ。受付や支払い、薬などは今まで通り医学部と歯学部は別になります。手術部は医学部・歯学部が一元化されました。

平成16年4月1日より国立大学法人長崎大学医学部・歯学部附属病院となり、なお一層の病院組織改革、職員の意識改革が求められております。これから各大学毎の特徴が出されて格差がついていくことになると思います。

今年度から病院再開発工事も始まりました。工事計画としては平成16年度中に診療棟診療棟(地上12階、地下1階、延面積39,500㎡)を着工し、平成19年度末に完成予定です。その後、病院本館の改修、第2中央診療棟改修が行われる予定です。ベッド洗浄装置、物流センターの導入、ハイケアユニットや緩和ケア病棟なども新設の予定です。

看護の専門性、質向上がますます求められる時代ですので、同窓会会員の皆様のご支援をいただきながら、優秀な保健学科学生の臨地実習施設となるように、長崎大学病院の看護も成長させていきたいと考えております。(文責:看護部長・下田澄江)

ニュースレターの名称を 募集しております。

長崎看護学同窓会便りとしてふさわしく
親しみやすい名称がありましたら、
事務局までお寄せください。

編集後記

記念すべきニュースレター第1号を無事発刊することができ、
ほっとしています。今後も充実した内容でお届けしたいと思っ
ています。ご意見やご要望などありましたら原稿をお寄せください。

担当:医療技術短期大学部

田島純子(3) 吉川香代(3) 張川恭子(10)